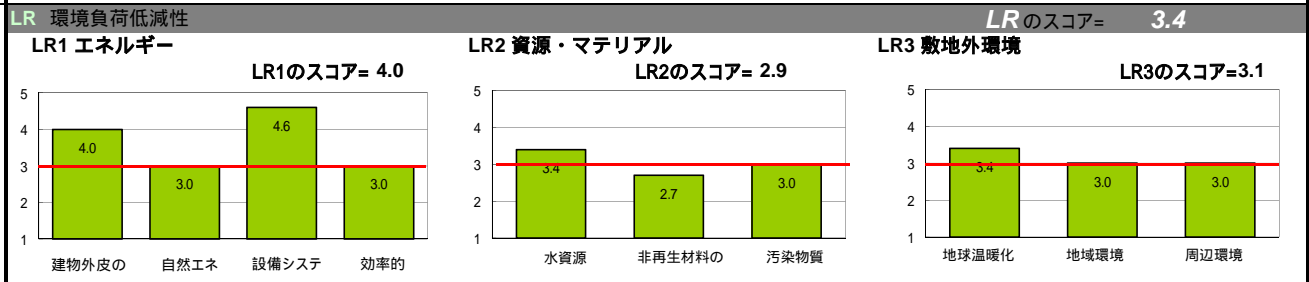
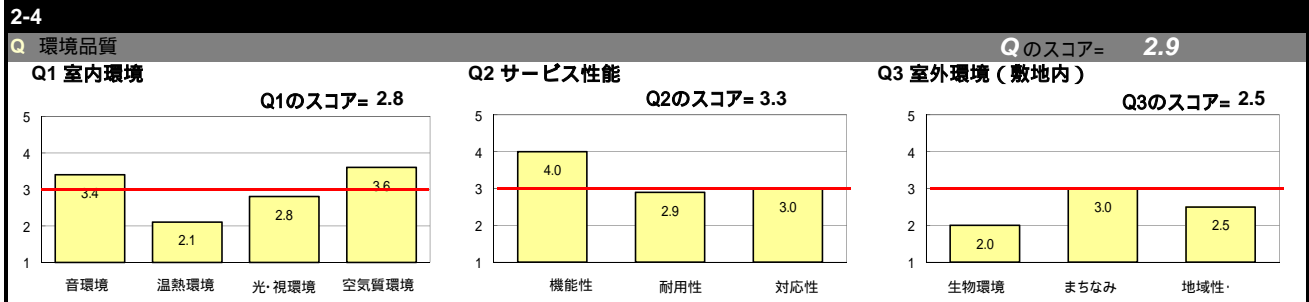
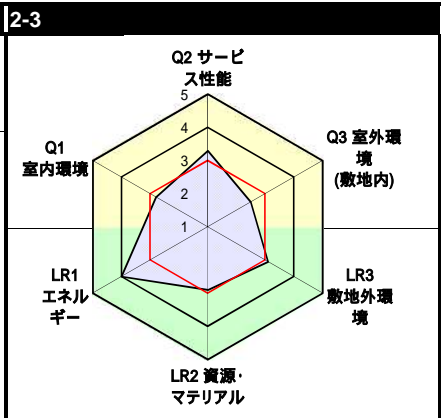
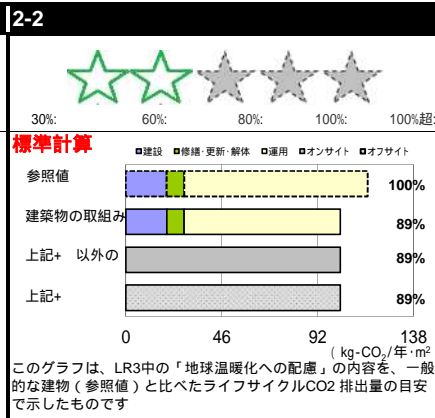
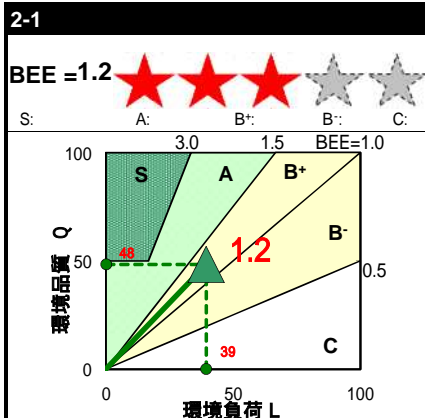


# CASBEE® - 建築(新築)

## 評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版, CASBEE埼玉県2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

<b>1-1</b>		<b>1-2</b>	
建物名称	(仮称) プレシス所沢元町新築工事	階数	地上15F
建設地	埼玉県所沢市元町43番1	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、防火指定無し	平均居住人員	180人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年3月 予定	評価の実施日	2017年7月24日
敷地面積	1,526 m <sup>2</sup>	作成者	
建築面積	415 m <sup>2</sup>	確認日	2017年7月24日
延床面積	3,579 m <sup>2</sup>	確認者	



<b>3 総合</b>		<b>その他</b>
外皮性能を等級4、高効率設備の採用によるBEI=0.87で省エネ性能の高い建物となっている。それによる環境負荷の低減にも貢献できるように考えている。		複層ガラス採用。
<b>Q1 室内環境</b>	<b>Q2 サービス性能</b>	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>
外皮性能を等級4仕様で温熱環境へ配慮した。	ゴミ置場や緑地メンテナンスの散水栓を設けて、維持管理に取り組んでいる。	緑地を適度に設けてまちなみや景観に配慮している。またカメラを設置して防犯にも取り組んでいる。
<b>LR1 エネルギー</b>	<b>LR2 資源・マテリアル</b>	<b>LR3 敷地外環境</b>
外皮性能を等級4仕様で熱負荷抑制へ配慮し、設備に関してもBEI=0.87とし、高効率設備の導入し、環境負荷への配慮をしている。	節水のために節水型便器の採用、LGS+PBにして再利用向上へ取り組んでいる。	高効率設備及び外皮性能を等級4にしたことからライフサイクルCO2=89%としている。また緑地を適度に設け、敷地外環境にも配慮している。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

**CASBEE-建築(新築)2016年版、CAS**  
**(仮称) プレシス所沢元町新築工事**

使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版、C  
 評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
<b>0 建築物の環境品質</b>									<b>2.9</b>
<b>Q1 室内環境</b>					0.40		-		<b>2.8</b>
<b>1 音環境</b>				<b>4.0</b>	0.15	<b>3.3</b>	1.00		<b>3.4</b>
1.1 室内騒音レベル				<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.50		
1.2 遮音				<b>5.0</b>	0.50	<b>3.6</b>	0.50		
1 開口部遮音性能		T-2の採用		<b>5.0</b>	1.00	<b>5.0</b>	0.30		
2 界壁遮音性能				<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	0.20		
1.3 吸音				<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	-		
<b>2 温熱環境</b>				<b>2.0</b>	0.35	<b>2.1</b>	1.00		<b>2.1</b>
2.1 室温制御				<b>3.0</b>	0.50	<b>3.3</b>	0.50		
1 室温				<b>3.0</b>	0.63	<b>3.0</b>	0.63		
2 外皮性能		住戸外皮性能:等級4		<b>3.0</b>	0.38	<b>4.0</b>	0.38		
3 ゾーン別制御性				<b>3.0</b>	-		-		
2.2 湿度制御				<b>1.0</b>	0.20	<b>1.0</b>	0.20		
2.3 空調方式				<b>1.0</b>	0.30	<b>1.0</b>	0.30		
<b>3 光・視環境</b>				<b>3.0</b>	0.25	<b>2.8</b>	1.00		<b>2.8</b>
3.1 昼光利用				<b>3.0</b>	0.30	<b>2.4</b>	0.30		
1 昼光率				<b>3.0</b>	0.60	<b>3.0</b>	0.50		
2 方位別開口					-	<b>1.0</b>	0.30		
3 昼光利用設備				<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.20		
3.2 グレア対策				<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.30		
1 昼光制御				<b>3.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	1.00		
3.3 照度				<b>3.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	0.15		
3.4 照明制御				<b>3.0</b>	0.25	<b>3.0</b>	0.25		
<b>4 空気質環境</b>				<b>3.6</b>	0.25	<b>3.6</b>	1.00		<b>3.6</b>
4.1 発生源対策				<b>4.0</b>	0.60	<b>4.0</b>	0.63		
1 化学汚染物質		F の採用		<b>4.0</b>	1.00	<b>4.0</b>	1.00		
4.2 換気				<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.38		
1 換気量				<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.33		
2 自然換気性能				<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	0.33		
3 取り入れ外気への配慮				<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.33		
4.3 運用管理					-		-		
1 CO <sub>2</sub> の監視				<b>3.0</b>	-		-		
2 喫煙の制御				<b>3.0</b>	-		-		
<b>Q2 サービス性能</b>					0.30		-		<b>3.3</b>
<b>1 機能性</b>				<b>3.0</b>	0.40	<b>4.2</b>	1.00		<b>4.0</b>
1.1 機能性・使いやすさ				<b>3.0</b>	0.40	<b>5.0</b>	0.60		
1 広さ・収納性				<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	-		
2 高度情報通信設備対応		カテゴリ-5eの配線による1Gビットの通信		<b>3.0</b>	-	<b>5.0</b>	1.00		
3 バリアフリー計画				<b>3.0</b>	1.00		-		
1.2 心理性・快適性				<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.40		
1 広さ感・景観				<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	0.50		
2 リフレッシュスペース				<b>3.0</b>	-		-		
3 内装計画				<b>3.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	0.50		
1.3 維持管理				<b>3.0</b>	0.30		-		
1 維持管理に配慮した設計				<b>3.0</b>	0.50		-		
2 維持管理用機能の確保				<b>3.0</b>	0.50		-		
<b>2 耐用性・信頼性</b>				<b>2.9</b>	0.30		-		<b>2.9</b>
2.1 耐震・免震・制震・制振				<b>3.0</b>	0.50		-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				<b>3.0</b>	0.80		-		
2 免震・制震・制振性能				<b>3.0</b>	0.20		-		
2.2 部品・部材の耐用年数				<b>3.0</b>	0.30		-		
1 躯体材料の耐用年数				<b>3.0</b>	0.20		-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				<b>3.0</b>	0.20		-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				<b>3.0</b>	0.10		-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				<b>3.0</b>	0.10		-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				<b>3.0</b>	0.20		-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				<b>3.0</b>	0.20		-		
2.4 信頼性				<b>2.6</b>	0.20		-		
1 空調・換気設備				<b>3.0</b>	0.20		-		
2 給排水・衛生設備				<b>2.0</b>	0.20		-		
3 電気設備				<b>3.0</b>	0.20		-		
4 機械・配管支持方法				<b>3.0</b>	0.20		-		
5 通信・情報設備				<b>2.0</b>	0.20		-		

<b>3 対応性・更新性</b>			<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	1.00	<b>3.0</b>
<b>3.1 空間のゆとり</b>							0.50
1	階高のゆとり		3.0	-	3.0	-	0.60
2	空間の形状・自由さ		3.0	-	3.0	-	0.40
<b>3.2 荷重のゆとり</b>			3.0	-	3.0	-	0.50
<b>3.3 設備の更新性</b>			3.0	1.00	-	-	-
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	-
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	-
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	-
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	-
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	-
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	-
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	0.30	-	-	2.5
<b>1 生物環境の保全と創出</b>			2.0	0.30	-	-	2.0
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>			3.0	0.40	-	-	3.0
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50	-	-	-
3.2	敷地内温熱環境の向上	中高木が多く植栽面積が多い	3.0	0.50	-	-	-
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>			-	-	-	-	3.4
<b>LR1 エネルギー</b>			-	0.40	-	-	4.0
<b>1 建物外皮の熱負荷抑制</b>		住戸外皮性能:等級4	4.0	0.20	-	-	4.0
<b>2 自然エネルギー利用</b>			3.0	0.10	-	-	3.0
<b>3 設備システムの高効率化</b>		[BEI][BEIm] = 0.87	4.6	0.50	-	-	4.6
<b>4 効率的運用</b>			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価							
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	-
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	-
集合住宅の評価							
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	-
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	-
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	0.30	-	-	2.9
<b>1 水資源保護</b>			3.4	0.20	-	-	3.4
<b>1.1 節水</b>		節水型便器の採用	4.0	0.40	-	-	-
<b>1.2 雨水利用・雑排水等の利用</b>			3.0	0.60	-	-	-
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	-
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	-
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>			2.7	0.60	-	-	2.7
<b>2.1 材料使用量の削減</b>			3.0	0.11	-	-	-
<b>2.2 既存建築躯体等の継続使用</b>			3.0	0.22	-	-	-
<b>2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用</b>		-	3.0	0.22	-	-	-
<b>2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用</b>		-	1.0	0.22	-	-	-
<b>2.5 持続可能な森林から産出された木材</b>			-	-	-	-	-
<b>2.6 部材の再利用可能性向上への取組み</b>		PB+LGSによる再生利用可能材料	4.0	0.22	-	-	-
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>			3.0	0.20	-	-	3.0
<b>3.1 有害物質を含まない材料の使用</b>			3.0	0.30	-	-	-
<b>3.2 フロン・ハロンの回避</b>			3.0	0.70	-	-	-
1	消火剤		-	-	-	-	-
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	-
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	-
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	0.30	-	-	3.1
<b>1 地球温暖化への配慮</b>		ライフサイクルCO2 = 89%	3.4	0.33	-	-	3.4
<b>2 地域環境への配慮</b>			3.0	0.33	-	-	3.0
<b>2.1 大気汚染防止</b>			3.0	0.25	-	-	-
<b>2.2 温熱環境悪化の改善</b>			3.0	0.50	-	-	-
<b>2.3 地域インフラへの負荷抑制</b>			3.0	0.25	-	-	-
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	-
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	-
3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	-
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	-
<b>3 周辺環境への配慮</b>			3.0	0.33	-	-	3.0
<b>3.1 騒音・振動・悪臭の防止</b>			3.0	0.40	-	-	-
1	騒音		3.0	0.33	-	-	-
2	振動		3.0	0.33	-	-	-
3	悪臭		3.0	0.33	-	-	-
<b>3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制</b>			3.0	0.40	-	-	-
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	-
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	-
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	-
<b>3.3 光害の抑制</b>			3.0	0.20	-	-	-
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	-
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	-

# CASBEE埼玉県

# 重点項目シート

使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

## 1 建物概要

建物名称	(仮称) プレシス所沢元町新築工事	BEE	1.2	BEEランク
------	-------------------	-----	-----	--------

## 2 重点項目の評価

ライフサイクルCO <sub>2</sub> の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア		
3.4	+	2.6	=	6.0
				
重点項目の各スコアの合計点				
がんばろう 6.0未満 	良い 6.0以上 	非常によい 6.8以上 	すばらしい 8.0以上 	

## 3 重点項目についての環境配慮概要

<b>(1) ライフサイクルCO<sub>2</sub>の削減</b>		スコア平均	3.4
< CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア >			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.4
高効率設備の導入し、環境負荷への配慮をしている。			
<b>(2) 緑の保全・創出</b>		スコア平均	2.6
< CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア >			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	2.0
Q3 室外環境(敷地内)	3.2 敷地内温熱環境の向上	スコア	3.0
LR3 敷地外環境	2.2 温熱環境悪化の改善	スコア	3.0
緑地を適度に設けてまちなみや景観に配慮している。地被で多くの面積を植えるのではなく、1m以上の木を多く採用している。			

: 入力欄